

『今 学ぶべき日本の心 天武天皇 丹生川上創建の想い〔中社編〕』

奈良シニア大学 in 東京



東京会場 1 日目：阪急交通社新橋サービスセンターでの講義の様子

奈良シニア大学 in 東京が令和 4 年 6 月 19 日(日)、20 日(月)の両日にわたり、『今 学ぶべき日本の心 天武天皇 丹生川上創建の想い〔中社編〕』を開講した。

両日共に登壇者は東吉野村にある丹生川上神社 中社 宮司 日下康寛氏で、6 月初旬には川上村の丹生川上神社 上社 宮司 望月康磨氏が〔上社編〕、7 月には下市町の丹生川上神社 下社 宮司 皆見元久氏が〔下社編〕をそれぞれ各神社の成り立ちやその歴史を中心に講義した。

神武天皇の建国、壬申の乱、建武の中興、天誅組の変など歴史の転換点に必ず登場する吉野地方。奈良時代、天武天皇が創建したと伝わる謎多き丹生川上神社は、現在『上社』、『中社』、『下社』が存在する。それぞれが人々の営みに欠かせない水の神をお祀りし、日本人の心に寄り添い、地域の人たちに守られ現在に至っている。

中社のご祭神の「罔象女神ミナモトノメノカミ」は 2019 年秋に大英博物館で開催された「奈良―日本の信仰と美の始まり」展にも出陳された。講座開催当日に日下宮司は「東吉野村という大変交通の便が悪い所ではありますが、仏像ではなくご神像という大変珍しいご祭神をご覧になりにお越しいただきたい、また来年は東京の国立博物館に出陳する予定でもあるので、その際には多くの皆さまにご覧いただくことができると思う」と講義を結んだ。

この講座は奈良シニア大学(一般社団法人日本コミュニケーションカレッジ、奈良市、理事長矢澤実穂氏)が開催しているシニア向けの日本のルーツ『まほろば学』を学ぶ教養講座。

東京では、毎月 2 回月曜日に新橋に

移転した「奈良まほろば館」にて開講、奈良県内でも奈良市と橿原市で開講、受講生を募集している。

東京会場 2 日目：奈良まほろば館 外観
講義は 2 階の会場で

お問い合わせ

奈良シニア大学 事務局

〒631-0817 奈良市西大寺北町3-2-19-1

平日9:00~18:00 土日祝休

☎ : 0742-81-7372

FAX : 0742-81-7383

HP : <https://narasenior.net/>